



# 全国学力・学習状況調査結果を受けて(その⑥)

## 報告書を踏まえた中学校国語の指導改善のポイント

今号では、中学校国語における全国調査結果を踏まえた指導のポイントを紹介します。あわせて、国立教育政策研究所のHPに掲載されている「報告書」も参照しながら、日々の指導の充実にお役立てください。

全国調査結果から～大問4 手紙を推敲する（職場体験学習のお礼状）～

### 出題の趣旨

読み手の立場に立って、語句の用法、**叙述の仕方**などを確かめて、文章を整えることができるかどうかみる。

### 正答における反応率

解答類型	全国
a 長い文を修正している	⇒ 9.2%
b 語句を修正している	⇒ 21.1%
c 語順を修正している	⇒ 0.1%

### 分析結果

反応率を見ると、語句の用法を修正した生徒に比べて、**叙述の仕方**を修正した生徒は少ない。

### 本問題の特徴

これまでの調査では、問題の中で既に修正がされたものが示され、その意図を問うものだったのに対して、今回の問題では、**文章の中から修正すべき点を生徒が指摘し、実際に修正する点**に特徴がある。

「推敲」の学習指導 ～3年間を見通した系統的かつ効果的な学習指導に向けて～

### Point①：読み手の立場に立って確かめて、文章を整えるよう指導する

中学校3年間を見通すと、「推敲」の学習指導では、**読み手の立場に立って自分が書いた文章を捉え直し、分かりやすい文章に整えること**が求められています。その際、各学年において、次の系統表の下線部分の内容を押さえることが重要です。

	(小) 第5学年及び第6学年	(中) 第1学年	(中) 第2学年	(中) 第3学年
推敲	オ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。	エ <u>読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。</u>	エ <u>読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えること。</u>	エ <u>目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えること。</u>

※ 下線は追加



全国学力調査 報告書



(左図) 「令和7年度全国学力・学習状況調査報告書 中学校国語」から抜粋

### Point②：他の指導事項と関連付けながら一層系統的に指導する

第1学年〔知識及び技能〕の(1)エに示された「**指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること**」、第2学年〔知識及び技能〕の(1)「**力 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うこと。**」などとの関連を図り、学習した「知識及び技能」を生かして文章を整えるよう指導することが大切です。

### 指導の具体例①

行事後に書いた作文など、**これまで書いた文章を読み返し**、伝えようとするのが十分に書き表されているかなどを、読み手の立場に立って確かめる。

その際、**書いた文章を音読する**などして、叙述の仕方を整えることなども効果的である。



### 指導の具体例②

1人1台端末で文章を書くときには、自分の学習の状況を振り返ることができるように、コメント機能などを利用して、**訂正した理由**を挙げたり、**整えた箇所を消さずに残したりする**ことが考えられる。

